

Campus Life

No.171 2017.9



ハワイ大学夏期英語集中講座では、ハワイ大学の講師を三島キャンパスに招き、現地で開講されている英語集中プログラムを日本にしながら受講します。（今年度は7月31日～8月11日実施）

ハワイ大学夏期英語集中講座（修了式）



クラス発表でフラダンスを披露



コミュニケーションの授業

日本一教育力のある大学の一翼を担う学部として 卒業後の進路を見据えた新カリキュラム導入

日本大学国際関係学部長 渡邊 武一郎



平成29年度の前期課程が終了し、充実した夏期休暇を過ごされましたでしょうか。学生の皆さんはこれからも、それぞれの目標の実現に向けて充実した時間を過ごしていただきたいと思います

さて、本年度は国際関係学部720名、短期大学部ビジネス教養学科に82名、食物栄養学科に79名、専攻科食物栄養専攻に21名、大学院国際関係研究科には7名、更には、三島高等学校に600名、三島中学校に51名と、三島キャンパス全体で1560名の新入生を迎えることが出来ました。全ての生徒、学生、大学院生を合わせると、三島キャンパスでは約5500人が学んでいます。

今年度入試では、国際関係学部の受験者が、昨年度比で29%増加しました。日本大学全体の受験者も12万人を超えており、先日の高校生に人気のある大学アンケートで、日本大学は8位になりました。

この秋には、新しくなったカリキュラムによるゼミナールを、従来の3年から1年早めて2年生から始めます。さらに、6つのコース（国際関係、国際ビジネス、グローバルスタディ、グローバル観光、国際文化、国際コミュニケーション）のいずれかに必ず所属することで、学生の出口を明確に見据えた形での教育を進めております。各コースの充実を図るべく、新たに国際関係論の永井雄一郎先生、世界近現代史の大久保明先生、国際法の佐藤量介先生、国際開発論の眞嶋麻子先生、文化人類学の伊藤雅俊先生、教職課程の富士原雅弘先生、英語教育のアーウィン・ブラッドリー先生、そして観光学の宮川幸司先生を国際関係学部にお迎えしました。新カリキュラムが完成する平成31年度には、学生たちの進路選択に誇るべく結果が出るものと確信しています。

また、短期大学部には経済学の津山智行先生、観光マネジメントの大久保あかね先生をお迎えし、即戦力として学生の育成に尽力していただいております。

昨年度より始めた、三島市内の小学校での本学学生による学習支援では、高い評価をいただき、今年度からは静岡県による「しずおか寺子屋」創出事業

として、新たな形でスタートしました。また、昨年度に続いて、今年度も文部科学省の「トビタテ留学JAPAN」に1名採択されました。

2019年に創立130年を迎える日本大学の伝統のもと、日本一教育力のある大学の一翼を担う学部として、更に創意工夫を重ねて発展に努めたいと思います。

校友会の就職支援

9月に就職合同面接会開催
日大出身社長の企業が参加
参加学生の約半数が内定

国際関係学部校友会会長

横山 雅人



第三代国際関係学部校友会会長の横山雅人と申します。日頃より校友会にご協力いただき誠にありがとうございます。

日本大学校友会は大学の近況を情報発信し、年1回行われる「全国校友大会」を開催するなど、校友のみならず母校との絆を深める場として、現在全国に65都道府県支部、18学部別部会、職域別四部会、約80の桜門会、さらに米、韓国などの8海外特別支部から構成されています。また、準会員である現役学生のための、診療費助成制度や奨学金制度等、後輩への支援も積極的に行っています。

学部別部会の一つである日本大学国際関係学部校友会（旧日本大学三島同窓会）は三島予科・三島教養部・文理学部三島・短期大学部（三島校舎）・専攻科食物栄養専攻・国際関係学部・大学院国際関係研究科からの正会員をはじめ、特別会員・名誉会員・準会員で構成されています。

私は昭和60年に国際関係学部国際文化学科卒業の第3期生であります。初の学部卒業生の会長となりました。学部校友会は在学生のために就職の支援を行っています。国際関係学部4年生及び短期大学部2年生（ビジネス教養学科・食物栄養学科）並びに専攻科食物栄養専攻の学生を対象に年1回9月に就職合同面接会を開催しています。今年で7回目となり、社長が日本大学出身の企業を中心に約20社が参加し、昨年までの実績は参加学生数約160名、内定学生数約80名となっています。今後、より充実した支援の体制を整えて行きたいと思います。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

—学生と向き合う日本大学の教育改革—

学部横断型授業

日本大学ワールド・カフェ開催

—多様性の中の自己を学ぶ試み—

日本大学は2017年4月「日本大学教育憲章」を施行。具
体性ある指標のもとで教育を展開し、学生と向き合い、学
生の学修成果の実質化による教育力日本一の大学を目指し
大学改革を進めています。

特に、今年の10月15・22日(日)には、全学共通初年次教育
科目「自主創造の基礎2」の一環として学部横断型授業「日
本大学ワールド・カフェ（通称N-MIX）」を初めて実
施します。

これは、**新入生約9000名が他学部を訪問あるいは他学部
生を受け入れ、ひとつのテーマについて話し合うことで、
多様性の中での交流や自分の役割、他者への傾聴などを体
験し理解することを目指します。**

国際関係学部には、文理、芸術、危機管理、スポーツ科、
生産工、医、歯、松戸歯、生物資源科、薬の各学部学生が
参加する予定です。

初年次教育後の国際関係学部では2～4年次に6コー
スのいずれかに属し、卒業まで目標をもって専門教育を学
びます。また、2年後期からゼミナールが始まります。

国際関係学部の留学

国際関係学部での留学には、いくつか種類があります。
派遣交換留学は、大学の代表として海外提携校へ1年間留
学します。応募者は、留学先の言語による面接選考等を通
過しなければなりません。留学先では、現地大学生と一緒
に正規課程の授業を履修します。6か月間の中期留学では、
語学科目を中心ですが、一般科目の授業を履修することも
できます。大学が主催するプログラム以外での留学を考え
ている場合は、認定留学制度があります。自分自身で留学
先を探し、学部の承認を得て留学することができるのが特
長です。近年、認定留学制度を利用して様々な国や大学へ
留学する学生が増えてきています。また、海外提携校に留
学し、双方の学士号を取得するダブル・ディグリー・プロ
グラムもあります。国際教育センターでは、スムーズに留
学できるよう手続きから単位認定までをサポートしていま
すので、ぜひ足を運んでください。

【2017 留学実績】

派遣交換留学 ドイツ2名、スペイン4名、オーストリア
2名、台湾1名、中国6名、韓国3名、フィリピン1名、
コロンビア3名

中期留学 中国10名、アメリカ18名、インド4名

認定留学 スペイン5名、アメリカ10名、オーストラリア
4名、オーストリア1名、カナダ17名、タイ5名、ニュー
ジーランド4名、フランス6名、韓国2名、アイルランド
1名、台湾1名

ゼミナール紹介

テーマは「コミュニケーション」

生内 裕子（国際教養学科教授）ゼミナール

生内（はえのうち）ゼミの研究テーマは、言語・文
化・教育から考えるコミュニケーションです。ゼミの
目標は「一生ものの力を身に付けること」と「一生の
仲間を作ること」の二つに集約されます。

一生ものの力とは、即ち文章力とコミュニケーション
能力です。まず、文章力向上のために、毎週課題と
して数本の論文の要約が課され、添削と修正を繰り返
します。大学では多くのレポートを書きますが、書い
た内容に関して細かく添削を受ける機会は少ないの
で、ゼミにおける添削と修正の繰り返しによって、学
生の文章力は短期間で飛躍的に向上します。また、授
業でのプレゼンテーションと、具体的な事例を取り上
げてのグループ・ディスカッションによって、正解の
ない問題について自分のことばでわかりやすく伝える
力を養うことができます。最近では、「2020東京オリ
ンピック・パラリンピックのスローガン」「聴覚障が
い者がテーマパークをより楽しむための方法」「訪日
観光客への言語サービスシステム」などについて議論
しました。こうして培った二つの能力は、卒業後の人
生においても貴重な財産になると信じています。

もう一つの目標である「一生の仲間を作ること」に

関しては、夏の研修旅行、学園祭への参加、3学年合
同で実施される卒業論文発表会などを通じ、親睦を深
めていきます。特に学生が中心になって運営している
勉強会は、毎週それぞれの学生が自分の得意分野につ
いて解説するというユニークな試みです。互いに教え
合い助け合う中で、強い仲間意識が生まれます。

ゼミは大学生活の中心であり、かけがえのない人間
関係を育む場所です。

同期、先輩、後輩という密な人間関係が卒業後も続
いていくことを祈っています。



幅広い視野のために、学術講演会・学外研修・インターンシップを実施

国際総合政策学科は、現代を取り巻く問題の解決を目指し、世界の人と協働し行動できる人材を育成することを目標としています。政治・経済・ビジネス・社会において幅広い視野を身に付ける為に、国際総合政策学科では、特に学術講演会・学外研修・インターンシップに力を入れています。

今年度の学術講演会は年10回を予定しており、前期は「新報道2001」ディレクター、青年海外協力隊OB、高千穂大学アジア交流研究センター客員教授など様々な分野で活躍されている方々にご講演頂きました。前期に引き続き、後期にはアジア関係の統一テーマを設定して複数回実施予定です。



学術講演会 青年海外協力隊の活動について知る

また、学外研修は、年4回を予定しており、これまでにJICA横浜、国会議事堂、日本銀行金融研究所貨幣博物館、東京証券取引所など多岐にわたり、国際社会の構造を多様な側面から学ぶことを目標として実施しています。



国会議事堂を通して日本の政治を再発見

さらに、世界で有能な人材として働くための知識や技術、仕事に対する心構えを学ぶために国内外の約30社の企業や団体の「インターンシップ」に参加する機会を設けています。こうした学科行事を通して、国際人として世界で活躍できる学生を育成します。



JICA横浜にて、「移民」について知る

大学院・国際関係研究科だより

学際的な視点を持った研究者養成と 国際交流・援助の高度専門職業人の育成を目指す

日本大学大学院国際関係研究科では、グローバル化が進展、地域格差の拡大、紛争など様々な問題が深刻化・複雑化していく中であって、問題解決の糸口を探ると同時に、グローバリズムとリージョナリズムの調和を図り、学際的な視点と柔軟な発想から、ダイナミックにアプローチできる研究者を養成するとともに、国際交流や国際援助を活動の場とする高度専門職業人を養成することを目指しています。

本研究科には、現在、国際関係研究専攻博士前期課程と博士後期課程が設けられています。

博士前期課程では、政治・経済・法律・開発・環境・

情報等の視点から研究を行う「国際関係」部門と、各国の文化・文学の比較や異文化コミュニケーション等の文化的フィールドから研究を行う「国際文化」部門から組織されています。また、博士後期課程では、社会科学・人文科学の成果を結集した新領域の国際関係研究を推進し、国際関係に精通した研究者として自立して研究活動を行うに必要な高度の研究能力及び豊かな学識を有し、国際社会に貢献できる人材を養成することを目指しています。

現在、博士前期課程に14名、博士後期課程に3名の在籍者がおり、日々研究活動に研鑽を積んでいます。

多文化共生のためのプログラムを実施

国際教養学科が目指すところは、異文化を理解した上での「多文化共生」です。これを進めるには、専門的な知識を持つことはもちろんですが、その手段として、語学力の向上を目指して、日々学んでいます。

特に、学生自らが、己の将来を見据えて自主的に学ぶことに重点を置き、発信力をつけることを目指しています。そのための一つとして、「自主創造」という日本大学の全学部が共通シラバスで行う授業では、「ワールド・カフェ」と称する、日本大学の他学部の学生との間で意見交換する場が設けられることになっています。これなど、総合大学ならではの試みであり、学生は発信力を高める場を持つこととなります。異なる環境で学ぶ学生と意見を述べ合うことにより、自分がどのような状態にあるのか、自分の置かれている状況をしっかり理解することができそうです。また、自分をしっかり理解することが、ひ



「御所桜堀川夜討」の名場面

いては、将来に照準を合わせて進むための第一歩となるでしょう。

国際教養学科の特徴は、学科行事に表れています。多文化共生時代を生きる我々は、他者を理解するためにも、まず自分の所属する文化、すなわち日本文化に対する理解を深めなければなりません。そのための一助となるような学外研修を毎年行っています。

その一つが歌舞伎鑑賞です。日本の伝統演劇といえば、まず歌舞伎であることから、毎年、歌舞伎座に出かけています。今年は、「名月八幡祭」ならびに「御所桜堀川夜討」を鑑賞しました。

歌舞伎のほかに、学生時代に知っておく、あるいは体験しておくという視点から、様々な学外研修を実施しています。美術館見学もその一つです。今年は東京国立博物館の常設展を見ました。



“風神雷神”の迫力に圧倒される

国立博物館の本館は、稲作以前の時代から今日までの日本の美術品が、時代を追って展示されています。二千年を超える日本美術史を眺めるとき、日本人として知っておくべき美術品とは何かを、考えさせられた数時間でした。

学外研修のようなキャンパス外の行事だけでなく、キャンパス内でも様々な行事を提供しています。それが、多種多様な文化を代表する方による講演や、それらの方々によって演じられる芸術の鑑賞会です。今年はインドネシアの文化についての講演を聴くことになっています。

このほか、多様な背景を持つ留学生との交流をはじめ、毎年本学部のキャンパスを訪れるニューヨーク州立大学ストーニーブルック校の学生グルー



後期には異文化の混淆した「ライオンキング」の演出も学ぶ

プの学生グループや、インドのゴア大学の学生グループとの交流を通して、キャンパスにいながら世界の人々と時間を共有する機会に恵まれています。

平成29年度 国際関係学部 海外ゼミナール 実施予定

ゼミナール	研修先	研修期間
鄭 勳燮	韓国 (ソウル)	平成29年 8月24日(木)～ 8月30日(水)
高橋 章	アメリカ (ハワイ)	平成29年 9月 7日(木)～ 9月13日(水)
永塚 史孝	モンゴル (ウランパートル)	平成29年 9月10日(日)～ 9月17日(日)
安元 隆子	ロシア (サンクトペテルブルグ)	平成29年 9月 7日(木)～ 9月14日(木)
陳 文挙	中国 (上海・蘇州・杭州)	平成29年 9月10日(日)～ 9月16日(土)
筧 正治	台湾 (台北)	平成29年 9月10日(日)～ 9月17日(日)
井上 桂子	台湾 (台北・台中)	平成30年 2月19日(月)～ 2月23日(金)
福井 千鶴	ボリビア・コロンビア	平成30年 3月 1日(木)～ 3月22日(木)
宗形 賢二	アメリカ (ニューヨーク)	平成30年 2月 (予定)

短期大学部（三島校舎）だより

ビジネス教養学科

日本大学短期大学部（三島校舎）ビジネス教養学科は、半世紀以上続いた商経学科より名称変更し5年目を迎えました。旧商経学科の良い点は継続し、さらにキャリア計画能力の向上と同じキャンパスにある日本大学国際関係学部への編入学（3年次）をより効率よくする為の科目互換性をカリキュラムに反映させた点は、名称変更後の力強い学科特色となっています。

ビジネス教養学科では、ビジネス社会で即戦力となる人材を育成するために8分野（経済学、マーケティング、経営学、会計学、情報、ビジネス・スキル、観光ビジネス、国際関係）からなるカリキュラムで将来の進路目標に応じて学習を進めています。また、将来を見据えたキャリア形成を支援し、進路実現に向けた対策講座を開講しています。

平成27年度卒業者の進路状況は、就職者数13名、編入学者数40名でした。4年制大学への編入学者数の内訳は、日本大学国際関係学部へ33名（推薦編入学13名、一般試験編入学20名）、日本大学経済学部5名（推薦編入学3名、一般試験編入学2名）、日本大学通信教育部1名、他大1名（東京経済大学）でした。平成28年度卒業者は、就職者数15名、専門学校（ペット、ホテル関係）2名、編入学者数28名でした。編入学者数の内訳は、日本大学国際関係学部へ25名（推薦編入学18名、一般試験編入学7名）、日本大学経済学部3名（推薦編入学3名）でした。平成27、28年度ともに編入学希望学生（各年度2年生9月時点で卒業見込み対象学生）の編入学達成は100%となりました。これは、学科における編入学合格支援として、編入学対策講座（英語講座、小論文講座）、学科独自の編入学ガイダンス（専任教員による模擬面接指導等）、そして基礎ゼミナールでの各学生の編入学目標に合わせた専任教員による個別指導の結果です。

ビジネス教養学科は様々な大学より若干名ずつではありますが推薦枠を確保しています。例えば、日本大学経済学部からは学内推薦枠として3名（経済学科、産業経済学科、金融公共経済学科の各1名）、特に強調したいのが、日本大学国際関係学部においては学内推薦枠として30名（国際関係学部国際総合政策学科20名、国際教養

学科10名）の推薦枠があります。学生は2年生前期までに一定の成績を修めることにより学内推薦編入学の出願資格対象となります。また、平成30年度より駒澤大学経済学部商学科への1名の指定校推薦編入学枠が加わりました。これらを合計するとビジネス教養学科定員数の約半数を上回る推薦編入学枠数となり、希望学生にとっては4年制大学編入学への進路が大きく開けております。

就職希望学生への支援も充実しています。就職指導課による国際関係学部と短期大学部対象の就職指導講座は年間を通して開講されています。その講座数は60以上に及び、各講座では就職活動に必要な多様な知識を得ることができます。

またビジネス教養学科では、基礎ゼミナールでの各学生の就職目標に合わせたゼミ担当教員による個別指導はもとより、学科履修課程でのキャリアデザイン、ビジネスマナー、夏季インターンシップ等でも学生のそれぞれの就職目標達成のための教育・支援をしており、ビジネス教養学科の特色としています。



平成29年度 ビジネス教養学科学術講演会

「宇宙をめぐる国際関係と日本」 講師 永井 雄一郎先生
（日本大学短期大学部（三島校舎）商経学科（現ビジネス教養学科）出身、現在、日本大学国際関係学部国際総合政策学科助教）

食物栄養学科

食物栄養学科は、2年制の栄養士養成施設で、当学科では栄養士資格のほかに4つの資格（フードスペシャリスト・フードアナリスト・製菓衛生師・介護職員初任者研修）が取得できます。栄養士資格取得のため、授業形式は講義と実験実習が組み合わせとなっています。講義で理論と知識を学び、実験実習で理論・知識を実証します。栄養士に必要な知識と技術を修得すると栄養士の資格が取得できます。このように高校時代とは異なった授業形式のために、1年生では入学早々に学生生活サポート研修の実施や、学外研修及び学術講演では授業では学ぶことができない理論や知識の修得ができる機会を作っています。

・1年生学生生活サポート研修及び学外研修

新入生相互の親睦、さらに教員とのコミュニケーションを図り大学生生活がスムーズにスタートできることを目的としたサポート研修と基礎食品学等の専門的知識を深めることを目的とした学外研修を毎年実施しています。平成29年度は4月15日（土）にサポート研修と学外研修を同時に実施しました。サポート研修では、グループワークを体験することにより、協調性や積極性を養う経験となりました。

学外研修では、裾野市にあるヤクルト富士裾野工場の見学をし

ました。予防医学と健康長寿を目的として開発されたヤクルト誕生秘話、乳酸菌生理機能などの説明を受けたのちに、ジョアの製品過程を見学し、衛生的な環境でより安全に作られていることがわかりました。

・2年生学術講演及び学外研修

学術講演は、食物栄養学科1・2年生を対象に毎年実施しています。平成28年度は12月1日（木）に、タナカ整骨院副委員長・日本オリンピック委員会（JOC）の医科学強化スタッフの田中基義氏（専攻科3期生平成13年度修了生）に「スポーツと健康」と題して、平成28年7月に開催されたリオオリンピックの女子シンクロナイズドスイミング日本代表トレーナーとして帯同した経緯、アスリートとの関わりと栄養、トレーナーから見た選手の食事事情などについて説明をして頂きました。今年度も後期に開催予定で、現在内容を検討しています。

一方、平成29年度の2年生の学外研修は、後期に三島市内のホテルでのテーブルマナー講座を予定しています。この研修では、学生時代には、正式なディナーでの会食の機会が少ないため、しっかりとしたテーブルマナーが身に付くことを目的として開催します。



1年生学生生活サポート研修
（三島校舎9号館前にて）



平成28年度学術講演
「スポーツと栄養」～日大食米からリオ五輪までの道のり～



専攻科食物栄養専攻

専攻科食物栄養専攻は、日本大学短期大学部食物栄養学科の卒業生や栄養士養成施設として認可を受けた短大あるいは専修学校の卒業生が進学できる、4年制大学の3、4年生に相当する学年の教育機関です。本専攻科では2年間、食と栄養に関する専門分野の講義や実習を学習することにより4年制大学卒業と同等の学士を取得することができ、大学院への進学も可能です。また、管理栄養士国家試験の受験に必要な年数に加算できるため、専攻科修了後2年間の実務経験を経て同試験の受験資格が得られます。

本専攻科は平成26年度入学者から特例適用認定専攻科として認定され、所定の単位を修得し、2年次に開設される学修総まとめ科目「特殊講義（専攻科）」において研究した成果を要旨にまとめて提出することにより、大学評価・学位授与機構より学士（栄養学）の学位を取得できるようになりました。

本専攻科では毎年、食と栄養・健康に関わる幅広い分野の専門家をお招きして講演会等を開催していますが、昨年度は本学卒業生の岡本康子氏（浜松医療センター管理栄養士）をお招きして、「病院管理栄養士に求められているもの」と題した講演

会が開催されました。また、昨年11月には専攻科食物栄養専攻・学外研修がキラメッセぬまづにて行われ、専攻科1・2年生計35名が同所で開催されていた“富士山・東北北海道広域ビジネスマッチング「食&農」こだわりの逸品展示2016”に参加しました。

毎年晩秋の頃には静岡県中・東部の大学生が集う「富士山麓アカデミック&サイエンスフェア」（富士山麓A&S）が県内で開催されており、今年も専攻科生は各自の研究内容についてポスター発表を行う予定です（写真は昨年の富士山麓A&Sの参加者）。



研究室探訪

インターネット販売がもたらす光と影

消費者は何を基準に商品を選択するのか、また何を基準に小売店を選択するのか。私の流通研究はこうした素朴な疑問から出発している。理論から学ぶ傍らで、実際の現場を見るために何度も小売店を駆け巡ることもある。消費者の立場になって実際に購買をすることで、その商品、その小売店が選択される理由を自分なりに分析し、そこから仮説を立てるのである。その一方で、小売店の店主や従業員に独自インタビューを行うこともある。店主や従業員がどのような志や思いを持って接客をし、サービスを提供しているのかを直に感じとることで、その店舗の魅力を知ることができることもある。

現代の流通研究の方向性は多岐に亘っているが、その中でも特に注目されているのが、インターネット社会を前提とした流通経路の拡充へのシフトである。ビッグデータやAIに代表されるようなITを駆使した販売戦略が流通先進国を中心に標準化されつつある。

私は2015年度に海外派遣研究員としてアメリカに行く機会を得た。アメリカは世界有数の流通先進国である。流通世界ナンバーワンのウォルマートを筆頭に、家電量販店のベストバイ、日本でお馴染みのコストコ等が至るところで店舗を構えている。しかしその店舗の運営の在り方も変わりつつある。従来のような価格競争戦略一辺倒では、消費者からの支持を得られなくなっている。価格だけでなく、利便性や何らかの付加価値を消費者は小売店に求めるようになってきているのだ。量販店の多くはショールミング化とされ、サービスの革新性なき実店舗は、消費者にとっては単なる商品確認の場と化している。それを目の当たりにしたのが、消費が大々的に促されるホリデーシーズンでのブラックフライデーでの体験であった。かつては消費大国アメリカの風物詩としても有名であったが、最近では必ずしも企業の予測する売上に到達していない。寧ろ、そのインターネット版とされるサイバーマンデーの方が、堅調に売上を伸ばしている。だが、その一方で、消費された商品の返品も課題視されるようになった。元々、アメリカではこうした購買習慣があり、インターネットの買い易さと相まってその度合いが増している。即ち、一旦は、インターネットによる売上の計上はプラスに転じているように見えるものの、一定期間を経て、

国際総合政策学科 准教授 蓼沼 智行

それが返品として店舗に戻されてくる。特に、実物の確認なしに手軽に購入できるインターネット経由による購入は、サイズが合わない、イメージと違う等



といった理由で返品されやすい。それでいて小売店側も、返品の手続きを謳っているところが現在多く、販売促進戦略の一部ともなっている。

返品はアメリカ流通における文化ともはいえる。実店舗経営を前提とした返品は小売店側の想定範囲内であった。しかしインターネット社会を前提する返品は、多くの流通業の想定を遥かに超えて、大きなコスト負担となりつつある。インターネットの場合、地理的制約を受けないグローバルな商圏を実現する。返品が発生すると、返品送料無料で謳っている小売店にとってそのコスト負担やさらに返品管理コスト（クレジットカード手数料やアイロンをかけた折りたたんだり、再包装し再販するための人件費等のコスト）も発生する。

昨年、アメリカのサイバーマンデーの売上は過去最高を記録している。インターネット販売は売上を後押しする優れた販売チャネルであるものの、返品を多く抱える小売店にとって死活問題となりつつある。こうした返品に対する戦略的対応が、アメリカ流通業者には急務となっている。日本の流通業界においても、同様の動きが一般化しつつある。日本は返品大国までにはならないまでも、返品自由を謳っているところも少なくはなく、加えて物流コスト問題も表面化してきた。それらに対して悩みを抱える流通業者が今後、増えてくることが予測される。どのようにインターネット販売と流通業者が向き合っていくかが、本格的に問われてくるだろう。私達、消費者も消費に対する意識を変えていかなくてはならない時を迎えているのかも知れない。

開講式

4月3日、満開の桜の下、平成29年度開講式が桜アリーナ（総合体育館）で行われ、国際総合政策学科405名、国際教養学科315名の新生を三島キャンパスに迎えた。この日から様々なガイダンスや部活・サークルの勧誘も行われ、新緑のキャンパスは学生の活気で満ち溢れた。



インド・ゴア大生来日

5月初旬、本学部提携校であるインドのゴア大学から学生4名が来日、約1か月間の日本研修が実施された。彼らは本学部での授業及び工場見学、箱根旅行等のアクティビティを通じて、日本語や日本文化を学んだ。日大生とゴア大生が共に学ぶ講義も行われ、英語で日本の生活様式を説明したり、両国について活発に意見交換をする学生もいた。送別会では、ゴア大生が三島での学びについて心のこもったスピーチを披露してくれた。

後期セント・ノーバート・カレッジ留学に向けて

本学部は米国セント・ノーバート・カレッジと長年提携を結んでいる。毎年8月下旬から半年間、英語や一般科目を学ぶ中期留学プログラムには多くの学生が参加する。5月24日にはスージー・マクギニティ先生が来校し、今年度夏に出発する参加者を対象に留学準備説明会を行った。昨年度の参加学生との交流会も開催され、お互いの近況報告や留学の思い出話を花を咲かせ、再会を喜んだ。



ニューヨーク州立ストーニーブルック大生来日

5月下旬に提携校のストーニーブルック大学から16名が来日し、約1か月間の日本語研修を実施した。午前は日本語の授業、午後は部活動訪問等を通じて様々な日本文化を体験。留学生は三島市周辺のご家庭にホームスティし、素顔の日本を知る貴重な機会を得た。本学部生も得意の英語能力を駆使し、各種行事の企画から運営まで積極的に参加した。



キャンパスでの国際交流

今年度は6月にスペインのサラマンカ大学より招聘教授を迎え、2週間に計5回の特別講義を実施した。また、本学部には常時数名の交換留学生在籍しており、日大生と共に児童向けの英語教室をはじめとした様々な国際交流事業を行っている。また、本学部生は国際関係論や社会学、経営学といった科目を交換留學生と共に英語で学ぶことができ、毎年受講生から好評を得ている。

上期市民公開講座開催



5月下旬から、上期市民公開講座を開催。統一テーマは「世界の『まさか』と日本—グローバル化の修正と世界経済の行方—」。本学部の教員を中心に計5回の講演を行った。トランプ

米大統領と保護政策、英国のEU離脱、フランス大統領選挙やドイツ総選挙後の欧州社会の構造変化、そして中国経済の展望等を取り上げ、それらが日本を含む国際関係に与えるリスクの実態を解説した。毎回多くの市民の皆様がご参加くださり、活発な質疑応答や意見交換が行われた。

避難訓練を実施

6月7日、避難訓練を実施。地震発生から火災発生を想定し、退避行動を行った。参加学生は想定以上に迅速に避難した。AEDの操作説明や消火器による消火訓練の指導、そして非常食の配布も行った。静岡県は南海トラフ地震による被害も想定されている。災害時にはこの体験を活かし、迅速かつ冷静な行動をしてほしい。



海外危機管理セミナー開催

6月21日、今後留学に出発する学生を対象に日本大学本部主催の海外危機管理セミナーを開催した。危機管理専門の講師を招き、具体例を交えながら海外の空港やホテル、大学の寮などで発生し得る犯罪や事件から身を守る方法を紹介し、参加者は熱心に聞き入っていた。



国際関係研究所主催「北朝鮮情勢」講演会

7月14日、東京新聞編集委員・五味洋治氏を迎え、「金正男暗殺後の北朝鮮情勢」と題する学術講演会を開催した。現在、核開発など北朝鮮の動向は世界の注視的。多くの聴衆が訪れ、関心の高さが示された。

オープンキャンパス開催



国際関係学部では、6月と7月にオープンキャンパスが合計3回実施された。今年度も学部説明、模擬授業、在学生の声を届け、入試・留学・奨学金・就職相談等の各種相談コーナーを設置

した。在校生トークでは、留学経験から得た国際感覚や大学での学びの大切さを、在学生の目線で大勢の高校生と保護者に熱心に伝え好評だった。

最新のキャンパスニュースは、国際関係学部ホームページ（<http://www.ir.nihon-u.ac.jp/>）にて、随時更新してお伝えしています。ぜひご覧ください。



～ TIP や留学で私たちが学んだこと～

TIPでの学びを活かし、教師を目指す

国際教養学科 3年 戸高 晃



私は、2016年Teaching Internship Program派遣生としてアメリカ、サウスカロライナ州のランカスター地区にある小学校にて、日本語教師として2か月間のインターンを経験してきました。大学に入る前から、このプログラムには参加したいと思っていたので、参加が決まった時にはとても嬉しかったです。現地に行くまでに、約1年間の事前研修があり、授業で使う英語について学んだり、模擬授業を何度も行いました。

現地では、5歳から11歳の小学生に日本に関するクイズや折り紙、書道、日本の歌、ダンス、けん玉、日本昔話の読み聞かせなどをしました。どの授業も子どもたちのワクワクが伝わってきてとても楽しかったです。

このプログラムでは、日本とアメリカの教育制度の違いや、保護者の方々が私たち外国人インターン生に求めていることの違い、そして先生方が子どもたちのモチベーションを上げるために使っている言葉の違いなどたくさんのことを学ぶことができました。

私は将来教師になりたいと思っています。日本に限らず、世界中でたくさん子どもたちにいろんなことを教えたいです。大学2年間で学んできたことをTIPで活かすことができたように、次はTIPで学んだことを残りの2年間で活かしたいです。

インドの多様性が私を強くしてくれた

国際総合政策学科 3年 渡邊 陽子

「えっ、インド…？」
インド・ゴア大学への中期留学が決まった時、皆にこう言われた。人口12億人を抱え、急速な経済発展を遂げる大国も、まだまだ日本人にとってはカレーやヨガ、治安の悪さといったイメージしかないのだと感じた。

アラビア海に臨む美しく小さなゴア州では、まずインド英語のイントネーションに苦戦し、毎日3食のカレーや、平然と道を歩く牛たちに唖然とした。一方、ショッピングモールやカフェが並び、お洒落な若者で溢れる近代的な街並みにも驚かされた。

授業ではインドの歴史や宗教、経済、政治などを英語で学んだ。ヨガやダンス、料理といった授業もあった。また、スタディツアーとして南インド、北インドにそれぞれ1週間ほど訪れたが、どちらも服装や食事、言語などが全く異なり、インドの



多様性を肌で感じた。悲しいことだが、都会に行くほど貧富の差が大きく見えた。

気候や食べ物に慣れず体調を崩したり、勉強に苦労したりすることもあったが、いつも現地の先生や友人に助けられ、励まされた。たくさんの会話を通して文化や思考を共有し、学び、刺激を受けた。この素晴らしい経験は、私を強くし、夢に向かって背中を押してくれた。

ノルテ大学留学レポート

国際総合政策学科 4年

TAKAHASHI RENGIFO MARTIN

私は昨年7月から今年5月まで、コロンビア第3の都市、バランキージャのUniversidad del Norteに交換留学生として滞在しました。コロンビアと聞くと「治安が悪い」「危険」というマイナスイメージがあると思いますが、この国の魅力、ラテンアメリカの急成長を肌で感じる事ができました。



ノルテ大学では国際ビジネス学部に着籍を置き、現地正規生や留学生と授業を受け、中南米新興国の経済成長やコロンビアの輸入輸出の関税制度、多国籍企業との関係性を学びました。授業は自主性を重んじ「予習」を前提に皆、発表します。また、毎週の様に個人、グループプレゼンテーションがあり、授業の準備にとても時間をかけました。最初はスペイン語での意思疎通や作業に苦しみましたが、同じ授業の友達が優しく教えてくれたのでやり通しました。

コロンビア人は怖いと思っていましたが逆で、とても陽気でした。毎週ダンスパーティー、お喋り大好き、常に前向きな人達です。「明日生きてるなんて保証はない。だからこそ今、家族、友達、恋人との時間をもっと大事にしよう」友達がよく言ったセリフです。この言葉は、僕に時間の使い方を振り返るきっかけをくれました。

留学期間中、学業に追われながらもボランティアで現地日本語学校にて日本語を教えました。文法知識もなく、最初はスペイン語で日本語を教える事にとても苦労しましたが、帰国前に生徒から「先生の授業が今までの中で一番分かりやすく楽しかった」と言われた時の達成感は忘れられません。

この留学はスペイン語能力の向上だけでなく、未知の世界でも思い切って飛び込めばそれ相応の成果を得る事ができるという「自信」と、異なる背景で育った人間同士でも理解し合えるという「確信」、そしてかけがえのない友人を私に与えてくれました。

新任教員紹介



国際関係学部 国際教養学科

富士原 雅弘 先生

文理学部、東海大学での勤務を経て、本年2月に着任しました。授業は学科専門科目と教職科目を担当しています。専攻は日本近現代教育史で、特に戦前期の中等・高等教育について制度面と実態面から研究を進めています。また、近年問題化している保護者の学校意識に関する研究、地域住民が積極的に学校運営に参加するコミュニティ・スクールの推進・普及に関する研究にも取り組んでいます。教育学を通して客観的・批判的な視点を身に付けた学生を育て、社会に貢献できる人材を送り出したいと思っています。



国際関係学部 国際教養学科

I. ブラッドリー 先生

私にとって、語学とは単に文法や語彙を学ぶことにとどまらず、その国の文化、社会、人について学ぶことだと思っています。今の時代であって、「英語とは何か」ということよりも、「どうやって英語で自分の気持ちや意見を伝えるか」ということが求められています。近年の海外における日本語や日本文化に対する人気の高まりは、英語を使って日本の価値観や伝統を発信するまたとない機会といえます。学生の皆さんには、英語を一生懸命勉強して、日本の素晴らしさを世界に伝えてほしいと思います。



国際関係学部 国際教養学科

伊藤 雅俊 先生

文化人類学、エスノグラフィー論等の科目を担当しております。文化人類学では、長期的なフィールドワークを実施するため、そこから体験的な学び、実践的な知を得ることができます。インドネシア（私の主なフィールド＝スマトラ島北部）での異文化体験を交えたり、図表等を使用したりと、種々の工夫を凝らし、ひとりでも多くの学生に学ぶことの楽しさが伝わるような講義を展開していきたいと思っています。学ぶことは、楽しいことです。最後に、インドネシアの諺“Tak kenal maka tak sayang”（知らないとは、好きにならない）。



国際関係学部 国際教養学科

大久保 明 先生

本年4月に本学に赴任し、世界近現代史や歴史学の科目を担当しております。遠い昔に遠い場所で起こった出来事を学ぶ意義を説明することは容易ではありません。しかし、現在の国際社会が直面する課題の多くは、歴史にその源流が求められます。日本も国際社会の一員です。世界の歴史を紐解くことで、複雑な国際問題を解決する糸口を見出して欲しいと考えております。そこで身に付けられる分析力や文章力は、実社会で活躍する糧ともなります。



国際関係学部 国際総合政策学科

佐藤 量介 先生

本年4月より着任し、主に国際法を担当しております。国際法は、国際関係学部の講義科目の中では数少ない法学系の科目ですので、苦手意識を持つ学生もいることでしょう。ただ、国際社会を今までとは異なる視点で分析し、これまでの知識や価値観を相対化し、新たな知見を得るという意味では、取り組む価値のある科目でもあります。国際社会で活躍することを目指す学生にとって、実り多き講義となるよう、努めて参ります。



国際関係学部 国際総合政策学科

永井 雄一郎 先生

本年4月より、国際関係論の授業を担当しています。本学の卒業生でもあり、大学・大学院時代を日本大学三島キャンパスで学びました。大学院修了後、東京大学での勤務を経て、この度母校である本学の助教に着任しました。私は、宇宙空間を舞台とする国際関係のあり方に関心を持っており、外交や安全保障の観点から宇宙活動の歴史や各国の宇宙政策について研究を行っています。国際関係学部で学ぶ学生の皆さんがより広い視野でグローバル化する国際社会の現状を考えることができるようサポートしていきたいと思っています。



国際関係学部 国際総合政策学科

眞嶋 麻子 先生

本年4月に赴任し、国際協力論、国際技術協力論、NGO・NPO論などを担当しています。学生のみなさんには、グローバル社会の中で困難を抱える地域や人たちに共感し、問題解決のための既存の方法を学びつつそれに対する批判的なまなざしを養ってほしいと思います。国際協力をとおして私たち自身のあり方も問い直し、どのように関わっていくことができるのかについての選択肢を見つけられるような教育活動に努めてまいります。



短期大学部（三島校舎）ビジネス教養学科

津山 智行 先生

本年4月より、マーケティング論、金融ビジネス論等の科目を担当しています。マーケティングや金融の分野は、社会に出てすぐに役立つ実践的学問です。都市銀行勤務やシンクタンク出向の経験を活かし、学習する知識が現実の社会でどのように役に立つのか、どのように応用されているのかを具体的に理解できる授業を行い、学生の皆さんが自信を持って就職や編入できるように努めて参りたいと思います。



短期大学部（三島校舎）ビジネス教養学科

大久保 あかね 先生

観光学を専攻しています。日本旅館の研究で学位を取得しましたが、現在は、地域振興策や道路施策、環境保護、防災からICT分野まで多岐にわたる分野まで研究領域を広げております。前任校では、学生と一緒に自治体や企業の皆様と多くの協働事業を手掛けてきました。本年度も、短期大学部のゼミ生たちの企画が三島市の市民主体のまちづくり事業に正式に採択されました。優秀な学生たちと、観光学を学び、実践することで、楽しく地域を活性化する活動を進めていきたいと考えております。

平成28年度退任者

国際関係学部		
国際総合政策学科	教 授	豊川 和治
国際総合政策学科	教 授	吉田 克己
国際総合政策学科	助 教	大西富士夫
国際教養学科	教 授	青木千賀子
国際教養学科	教 授	加藤 洋子

短期大学部（三島校舎）		
ビジネス教養学科	助 教	K. バリース

文部科学省「トビタテ留学 JAPAN!」に選抜され
タンザニアで教育状況を調査
若年妊娠した女子生徒たちにインタビューも

国際総合政策学科 3年 菊池モアナ



タンザニアから、こんにちは。

私は現在、教育事情の調査をするために「トビタテ留学 JAPAN!」という文部科学省の奨学金を利用してイギリスでの語学留学、アフリカに関する授業の聴講を

経て、タンザニアで暮らしています。

私は中学生の頃の平和学習を受けてからずっと留学をしたいと考えていましたが、自分の希望する留学先は経済的理由で学校の留学制度は活用することができず、どうしようかと色々調べていたところ、この奨学金制度を知りました。トビタテは実現したい目標を持っていてそれを叶えたいという情熱がある学生なら誰でも支援してもらえる素晴らしい奨学金です。支援金は全て企業からの寄付で成り立っていて、書類審査、個人面接、グループディスカッション、プレゼンテーションを通して合格が決まります。審査は支援団体の企業の人事の方々为中心になって進められていて、面接を受けるだけでも将来についてのアドバイスをいただくことができ、とてもいい経験になります。合格してからも事前研修や事後研修などがあり、そこで出会うトビタテ生との繋がりは私の人生に新しい刺激をたくさん与えてくれています。

現在は、タンザニアのルティンディという農村地区の村で水道の通っていない家で暮らしていますが、改めて便利な生活への感謝の気持ちを思い出させてもらっています。ここでは小学校高学年、中学生の女子を対象に様々な背景における退学理由を切り口に質的調査をしようとしています。また、JICAの草の根事業案件に採択されたプロジェクトにもインターン生として関わることになり若年妊娠によって退学してしまった女子生徒を対象にインタビューをしています。

この経験を経て将来のビジョンをより明確にし、そして、一番近い目標である、青年海外協力隊として活動できるように、経験を積むため精一杯頑張ります。



日本拳法で全日本優勝

全日大優秀選手賞も

国際教養学科 4年 山本 大樹

日本拳法とは防具とグローブを着用して殴打技、蹴り技、関節技を駆使してポイントを競う協技武道です。警察の逮捕術、護身術にも用いられています。私は昨年の全日本拳法形・面空乱撃大会において優勝し、日本大学日本拳法大会（団体戦）では創部初の準優勝、個人で優秀選手賞を受賞しました。

私はこの二大会の優勝を目標に、主に得意技であるカウンターや胴付きの練習、また右手首の古傷をかばうために構えの形を変え、フォーム確認を常に心がけ、日々稽古してきました。大会ではこの努力が結果に結びつき、うれしかったです。

日本拳法は私を成長させてくれた武道です。今後は指導員資格を取り、多くの人に日本拳法の魅力を知ってもらいたいと思います。また、日本拳法部の継続、発展のために部一丸となって頑張っています。



国際交流基金の
“日本語パートナーズ”
としてインドネシアに派遣される

国際総合政策学科 4年 岡 優斗



私は、大学3年次に国際交流基金の“日本語パートナーズ”に関心を持ち、応募し内定を頂きました。そして、研修を経て、今年7月、インドネシアに派遣されました。

“日本語パートナーズ”とはASEAN諸国の主に中等教育機関にて、現地の日本語教師、学習者の「パートナー」として、授業のアシスタントや日本文化紹介活動等を行うもので、ASEAN諸国の日本語教育を支援する活動です。また、“日本語パートナーズ”自身も現地の言語や文化についての学びを深め、ASEAN諸国と日本の架け橋となることが目標です。

私が所属している安元ゼミでは日本社会や文化について勉強し、その成果をロシア、アメリカの学生に発信、交流する機会がありました。互いの国の文化や歴史を話し合うことで互いの国について理解し合うことができ、その達成感と感動から“日本語パートナーズ”に応募しました。これからインドネシアと日本の架け橋として、両国のより良い関係のために尽力します。

1年後、成長した姿をお見せできるよう、頑張ります。

【強化推進部】

硬式野球部

現在、150名を超える部員が在籍する硬式野球部は今年で18年目を迎えました。私たちは『"Kokusai way" ～挑戦～』をスローガンとし先輩方の残した全国大会1勝の記録を越す為に負けない野球を目指しています。これまで静岡リーグ優勝20回、全国大会出場3回の成績を収めてきました。応援されるチームになることを目標に、全ての方に感謝の気持ちを忘れずに日々邁進していきますのでご後援の程宜しくお願い致します。



チアリーディング部

日本大学国際関係学部チアリーディング部は2014年に創部され、今年で4年目を迎えます。今年は、部員全員が一年生となり、新生チアリーディング部として新たなスタートを切りました。現在は12月に開催される日本学生チアリーディング選手権大会を目標に新たなチーム4名で日々練習に取り組んでいます。富桜祭やオープンキャンパスでもパフォーマンスを披露する予定です。また、硬式野球部の試合や箱根駅伝などにも応援に駆けつけます。もっと多くの方にチアリーディング部の活動を知ってもらえると嬉しいです。新入部員も募集しています。毎週月・水・金曜日に大講堂や桜アリーナで練習を行っていますので、興味のある方はぜひ声を掛けてください。応援よろしく申し上げます!!



【公認団体】

World Smile Project

私たちはWSPです。現在世界では、20億の飢えに苦しんでいる人々と、10億の肥満の人々がいます。その両方を解決する仕組みがTABLE FOR TWOです。私たちはこの活動をしています。私たちが考案するヘルシーメニューを購入すると、1食につき20円の寄付金が発展途上国の子供たちの学校給食になるという仕組みです。ミーティングでは、1人1人が意見を出し合って、学生に満足してもらえ、また1人でも多くの子供たちに給食が届くメニューを考え出しています！



茶道部

私たち茶道部は、毎週金曜日に15号館6階のラウンジで活動を行っています。地域のイベント・合宿・富桜祭・学生茶会・初釜・卒業茶会などで茶席や茶事を通して、茶道の楽しさや人としての礼儀作法などを日々勉強しています。ほとんどの部員は大学から茶道を始めており、日々日本文化に触れながら、和気藹々と楽しく活動しています。また、京都で行われるお家元の学生セミナーにも参加させて頂き、とても充実した勉強をいたしました。そして、アメリカやロシアといった大学からの留学生にも茶道体験を通して日本の伝統文化の良さを伝えていきます。



主要対外試合の結果

【強化推進部】

硬式野球部

平成28年度 静岡学生野球リーグ秋季リーグ戦 優勝
東海・北陸・愛知三連盟王座決定戦 ベスト4
平成29年度 静岡学生野球リーグ春季リーグ戦 優勝

女子野球部

関東女子硬式野球リーグ戦 2部11チーム中 2位
(平成29年度1部昇格)
全日本女子硬式野球選手権大回 ベスト8

公認団体 (部活動)

【平成28年度 日本大学体育大会の結果】

男子バレーボール部	優勝
女子バレーボール部	3位
サッカー部	3位
剣道部	3位
バドミントン部	3位

奨学金情報

日本大学の奨学金 ※全て給付奨学金

8月31日現在

名称	適用資格	給付額（年額）	募集選考	採用者数
特待生	2年次以上の全学生で学業成績優秀にして品行方正な学生	①甲種 授業料1年分相当額の半額及び図書費 ②乙種 授業料1年分相当額の半額	4月選考	23名（学部） 2名（短大）
日本大学事業部奨学金	経済的理由により学費等の支弁が困難であること。学業成績が優秀で、人物が優れていること。特待生でないこと。	240,000円	7月選考	4名
日本大学創立130周年記念奨学金	学部、短大の一般入学試験に出願予定の者で、経済的理由により学費等の支弁が困難であること。修学意思が堅固で優良な資質を持っていること。予約採用者は、一般入学試験に出願し、受験・合格後、入学手続きすることにより奨学生として採用決定する。	第1種（入学生） 300,000円	平成29年 11月30日 応募締切	大学全体で 250名を 予定
	学部、短大に在学中の学生で、経済的理由により学費等の支弁が困難であること。修学意思が堅固で優良な資質を持っていること。	第2種（在学生） 300,000円	原則 毎年6月 募集	93名（学部） 9名（短大）

国際関係学部の奨学金 ※全て給付奨学金

名称	適用（応募）資格	給付額（年額）	募集選考	採用者数
学部奨学金（第1種）	2年次以上の学部・短大・大学院の学生。学業及び人物ともに優秀な外国人留学生以外の者。	授業料1年分の半額相当	4月選考	3名
学部奨学金（第2種）	学部・短大・大学院の学生。不測の事態発生等により学費の支弁が困難であり修学意志が堅固な者。		随時募集	0名
学部奨学金（第3種）	2年次以上の外国人留学生で、学業及び人物ともに優秀な者。		4月選考	1名
日本大学三島後援会特別奨学金（下宿・アパート、新幹線通学補助）	学部・短大・大学院・専攻科の学生。三島後援会からの支援を受け、自宅通学不可能な者、または遠隔地からの新幹線通学の者に対し授業料の負担を軽減し、経済的援助事業を行うことを目的に選考し、奨学金を給付する。	80,000円 又は 120,000円 （半期分）	春期（6月） 募集 秋期（11月） 募集	75名（春期） 100名程度（秋期）
校友会奨学金	学部・短大の学生。国際関係学部校友会の支援を受け、第1種、2年次以上に在学中で学業成績が優秀で人物が優れている者。第2種、1年次に在学中で入学時成績及び最終学校の学業成績が優秀で人物が優れている者（特待生等他の奨学金を受けている者は除く）。	250,000円	4月選考	17名

年間行事予定（平成29年度）

9月19日(火) 夏季休暇終了	11月28日(火) 第2回大学院進学説明会	1月29日(月) 後期授業終了
9月20日(水) 後期授業開始		1月30日(火)～31日(水) 定期試験（諸課程）
9月23日(土) 秋分の日（土曜授業）	12月23日(土) 天皇誕生日（土曜授業）	2月15日(木)～16日(金) 追試験
9月28日(木) 9月卒業学位記伝達式	年内授業終了	3月2日(金) 卒業・修了決定者発表
10月4日(水) 日本大学創立記念日（休校）	12月25日(月) 冬季休暇開始	3月25日(日) 日本大学卒業式
10月9日(月) 体育の日（月曜授業）	1月10日(水) 冬季休暇終了	学位記等伝達式
	国際ミニオープンキャンパス	
10月27日(金) 富桜祭準備（休講）	1月11日(木) 授業再開	
10月28日(土)～29日(日) 富桜祭	1月13日(土)～14日(日) 大学入試センター試験	
10月30日(月) 富桜祭片付け（休講）		
11月11日(土) 短大ミニオープンキャンパス	1月20日(土) 短大ミニオープンキャンパス	

平成28年度就職状況の概要

平成28年度卒業者の就職率は、国際関係学部で94.6%、短期大学部（三島校舎）で90.7%となりました。就職率は、就職を希望する者に占める就職者の割合を表すものです。このほかに、卒業生就職率（就職者／卒業生）という指標もありますが、就職を希望しない者や国家試験等受験者、進学者、海外留学者等も分母に含まれるため、大学の就職部門では先の就職率を公表することが一般的です。

平成28年度の全国の大学新卒者就職率は、文部科学省の状況調査で97.6%という高い数値を示しました（平成29年4月1日現在）。今年度の内定取得状況も引き続き好調感を維持していますが、大企業、人気企業の難易度は相変わらず高く、また、一部の企業では雇用調整段階に入っている傾向が出てきています。今後の社会経済状況により、雇用環境が急変する可能性も十分ありますので、油断せず入念な準備を進めていくことが重要です。

自分の“軸”と伝える事の大切さ



国際総合政策学科
2017年3月卒業
佐々木 拓也
株式会社パソナ
に勤務

私は高校生の頃からお金や権力などではなく『社会の問題を解決する』という“使命感”をもって仕事をしたいと考えていました。それを軸にした結果、今の会社がありました。

私は正直これと言って就職活動に対して対策を立てていた訳ではありませんでした。強いと言うならば就職活動中は『伝え方』に注意をしてきました。自分が経験したこと感じてきたこと、また学んできたことをどんなに相手に知って欲しくても表現の仕方が下手だ

ったらそれはないものと同然になってしまいます。従って私は相手にインパクトを与える話の内容や構成、しゃべり方などを大学三年生の夏から意識してトレーニングしてきました。

また一般的に言う一流企業の、通過するエントリーシートをかき集めてそこから共通する点を自分で見つけてそれを真似するというのを何度も何度も繰り返すという作業をしてきました。結果として私は大学三年生の間に就職活動を終わることが出来ました。

最後に在学生の皆さん、仕事は皆さんの夢を叶えるための手段であって目的ではありません。それを考えたら自ずと自分の軸が見えてくるはずです。頑張ってください。

多くの人との関わりを大切に



食物栄養学科
2017年3月卒業
仲澤 舞香
サンワフーズ株式会社
に勤務

私は自分の進路を考えた時に、小学生の頃、給食がとても楽しかったことから、食の楽しさを提供できる仕事に就きたいと思い、食物栄養学科に入学しました。4月から、栄養士としてクリニックに勤務し、デイケアに通われている方に食事を提供する仕事をしています。

就職活動にあたり、短大1年生のときは就職指導ガイダンスに行き、就職指導課で求人票をこまめにチェックするようにし、気になった企業を自分で調べるようにしていました。就職指導課では履歴書の書き方、添削、面接練習などをしてもらいました。また、大学生活では部活動にも参加し、他学部の人と関わることで、協調性が身に付き、それが今の職場でも活かされています。

進路に悩んだ時、面接で失敗した時など、食物栄養学科にはサポートしてくれる先生方や仲間がたくさんいました。就職指導課の方をはじめ周りの人からのアドバイスや、学生生活で得たことを活かし、自分の夢に向かって就職活動に励んでください。

視点を変えてみるのがひとつのキーワード！ ～一生涯のパートナーとして～



国際教養学科
2017年3月卒業
野中 侑奈
第一生命保険株式会社
に勤務

私は国際教養学科を卒業し、4月から第一生命保険株式会社に入社し、6月から生命保険と損害保険の法人営業（コンサルティング）をしています。

私は、大学3年の時、一年間韓国に留学をしていたため、周りよりも就職活動が遅れていました。もちろんインターンシップなど一度も経験できず、とても不安で焦りましたが、帰国後に就職活動を本格的に始めました。

最初は韓国語と英語を使った仕事に就きたかったため、旅行・観光・航空関係を中心に東京と静岡

を行き来しながら就職活動に励んでいました。しかし、面接を受けていくうちに、自分の好きなことと仕事は別だと感じるようになり、これから自分が社会貢献できる職業に就きたいと思うようになりました。私はこの会社を選んで良かったと改めて思います。コンサルタントとして、お客様のニーズに合ったぴったりのものを提案し、安心して納得いただけるまでプランと一緒に考え、最後まで人に尽くすことにとてもやりがいを感じるからです。そして何よりお客様から「ありがとう」と感謝の言葉をいただけることが一番働いていて嬉しいです。

就職活動は、みなさんにとって人生でかけがえのない経験となるでしょう。今は精一杯自分と向き合いながら何事も恐れずにただ納得できるまで頑張ってください！！

働くための準備とサポートなら ビジネス教養学科！



ビジネス教養学科
2017年3月卒業
高島 優奈
南駿農業協同組合
に勤務

3月に日本大学短期大学部ビジネス教養学科を卒業し、4月から南駿農業協同組合に勤務しています。

入学当初は就職活動についてわからないことが多く、先輩に聞いたり、学校が薦める就職支援ガイダンスに参加したりして、理解を深めました。特に就職支援ガイダンスには、友人と一緒に一度も休まず参加し、多くのことを学ぶことができ、実践に活かせたと思います。また、資格取得や就職の際に有利になる授業「ビジネスマネー」「簿記論」「金融ビジネス論」

などを優先して取るようにしてきました。もともと金融関係に就職しようと考えていたため、このような授業を取り、それにプラスして「特殊講義」で金融や保険などに詳しくなるために「ファイナンシャルプランニング」の授業も受けました。

本格的に就職活動をスタートしたのは、3月です。企業説明会に参加して、企業について知っていくのももちろん、就職指導課に通い、履歴書やエントリーシートの添削、面接の練習をしていただきました。就職指導課の方々や先生方のサポートのおかげもあり、5月半ばには内定が決まりました。

支えてくれた人々への感謝、希望した仕事に就けていることへの感謝を忘れず、大学で学んだことを活かしながら、地元の役に立てよう励んでいきます。

就職支援体制

開講講座一覧（平成29年度）

日 程	講 座 名	対 象						
		学 部				短 大 専攻科	保 護 者	
		1	2	3	4	1	2	
4月	学部2年生対象 就職・公務員ガイダンス ～就職活動対策を先取り～		●					
	保護者対象 就職ガイダンス ～知っておくべき就職情報～							●
	学部・短大1年生対象就職・公務員ガイダンス ～今から知る就職活動状況～	●				●		
	ビジネス教養学科2年生対象就職ガイダンス ～選考前の就職指導課活用方法～							●
	食物栄養学科2年生対象 就職ガイダンス ～選考前の就職指導課活用方法～							●
	学部3年生対象 就職・公務員ガイダンス ～就職活動準備、筆記試験対策の重要性～			●				
	開発元がどうしても伝えたい「SPI」	●	●	●	●	●	●	
	SPI対策模擬試験①	●	●	●	●	●	●	
5月	インターンシップ対策講座 就職情報サイト登録及び活用講座	●	●	●		●		
	第1回業界セミナー（航空） 航空業界の仕事を知ろう	●	●	●	●	●	●	
	第2回業界セミナー（金融） 金融業界の仕事を知ろう	●	●	●	●	●	●	
	第3回業界セミナー（食品：製造） 製造業界の仕事を知ろう	●	●	●	●	●	●	
6月	有用資格取得紹介セミナー	●	●	●	●	●	●	
	エントリーシート対策・書き方講座		●	●		●		
	第4回業界セミナー（小売：自動車） 小売業界（自動車）の仕事を知ろう	●	●	●	●	●	●	
	ニュース時事能力検定（第37回）	●	●	●	●	●	●	
	TOEIC説明会	●	●	●	●	●	●	
	第5回業界セミナー（旅行） 旅行業界の仕事を知ろう	●	●	●	●	●	●	
	基礎編 マナー講座（電話・企業訪問）	●	●	●	●	●	●	
	海外留学者就職ガイダンス	●	●	●		●		
7月	適職診断テスト	●	●	●		●		
	世界遺産検定（第24回 3級）	●	●	●	●	●	●	
	一般常識テスト	●	●	●	●	●	●	
		●	●	●	●	●	●	
4月 8月	SPI試験対策講座（言語）全15回	●	●	●	●	●	●	
	SPI試験対策講座（非言語）全15回	●	●	●	●	●	●	

日 程	講 座 名	対 象						
		学 部				短 大 専攻科	保 護 者	
		1	2	3	4	1	2	
9月	学部3年生・ビジネス教養学科1年生 就職活動実践講座スタートガイダンス			●				
	自己PR作成のための自己分析講座			●		●		
	履歴書作成準備講座～自己PR編～			●		●		
10月	食物栄養学科1年生・専攻科食物栄養専攻1年生 就職活動実践講座スタートガイダンス					●		
	履歴書作成準備講座 ～学生時代に力を注いだこと編～				●	●		
	志望動機作成のための自己分析講座			●		●		
	履歴書作成準備講座 ～志望動機編～			●		●		
	選考体験講座 ～会社説明会編～			●		●		
	面接対策講座			●		●		
	選考体験講座 ～面接マナー編～			●		●		
	保護者就職相談会（講演・個別相談）							●
11月	職種研究講座	●	●	●		●		
	履歴書書き方講座（作成方法）			●		●		
	リクルートファッション講座	●	●	●		●		
	マナー講座（企業訪問編）	●	●	●		●		
	マナー講座（電話編）	●	●	●		●		
	公開模擬面接			●		●		
12月	内定者報告会	●	●	●		●		
	履歴書書き方講座（添削）			●		●		
	学部4年生・短大2年生内定者対象 入職前サポート講座				●		●	
	世界遺産検定（第26回 3級）	●	●	●	●	●	●	
1月	学部3年生・短大1年生対象 就職活動開始前最終ガイダンス			●		●		
	学部2年生対象 今から始める就職活動準備ガイダンス		●					
2月	静岡県内就職希望者対象準備講座	●	●	●		●		
	女子学生対象メイク講座	●	●	●		●		
	1日で体験！選考体験講座			●		●		
	SPI対策模擬試験②	●	●	●		●		
	エントリーシート添削模試	●	●	●		●		
	実践！業界・企業研究講座			●		●		
	企業人事担当者による模擬面接			●		●		
	就職活動直前セミナー			●		●		
3月	日本大学合同業界研究会・就職セミナー			●		●		
	学内合同企業説明会			●		●		
10月 2月	SPI試験対策講座（言語）全15回	●	●	●		●		
	SPI試験対策講座（非言語）全15回	●	●	●		●		

公務員試験対策講座

講座一覧

- ・公務員試験入門講座（教養科目） 1、2年生
- ・公務員試験入門講座（専門科目） 1、2年生
- ・公務員試験対策講座（教養科目） 主に3年生
- ・公務員試験対策講座（専門科目） 主に3年生
- ・集中特訓講座 3年生
- ・直前対策講座 4年生

過去3年間の公務員試験合格者実績

- (1) 国家公務員 一般職：厚生労働省静岡労働局 1人
- (2) 国家公務員 特別職：自衛隊一般幹部候補生 13人
- (3) 地方公務員 上級職：静岡県、政令指定都市（静岡市、相模原市）8人
- (4) 地方公務員 上級職：三島市、沼津市、富士市、磐田市、津市、日立市、桐生市など 19人
- (5) 地方公務員 保安職：静岡県警、警視庁、神奈川県警、東京消防庁、静岡市消防局など 30人

平成28年度主な内定企業一覧

国際関係学部

建設業

(株)アーネストワン
セキスイハイム東海(株)
大和ハウス工業(株)
東建コーポレーション(株)
(株)ミライト

製造業

いなば食品(株)
白井国際産業(株)
オカモト(株)
協同乳業(株)
太平洋セメント(株)
大王製紙(株)
(株)資生堂
ジャトコ(株)
スズキ(株)
(株)東京ウエルズ
東芝機械(株)
日本全業工業(株)
パナソニックヘルスケア(株)
日野自動車(株)
扶桑薬品工業(株)
(株)マリークワントコスメチックス
ヤマハ発動機(株)
ヤマハモーターエレクトロニクス(株)

電気・ガス・熱供給・水道業

東京瓦斯(株)

情報通信業

(株)ウェザーニューズ
(株)ジャステック
S k y (株)
(株)高橋書店
ディップ(株)
(株)マイナビ
丸紅OKIネットソリューションズ(株)
三菱総研DCS(株)
(株)ユニリタ

運輸業・郵便業

アサガミ(株)
ANAエアポートサービス(株)
(株)ANAケータリングサービス
(株)天野回漕店
(株)上組
鴻池運輸(株)
国営カタル航空
(株)JALスカイ
全日本空輸(株)
センコー(株)
(株)ダイエーコーポレーション
大和物流(株)
東洋埠頭(株)
西日本鉄道(株)
日通NECロジスティクス(株)
日本通運(株)
(株)はとバス
東日本旅客鉄道(株)
(株)丸連

卸売業・小売業

旭化成アドバンス(株)
(株)I DOM
(株)イトーヨーカ堂
(株)魚力
エレマテック(株)
(株)遠鉄ストア
(株)大塚商会
(株)オートベル
(株)カインズ
花王カスタマーマーケティング(株)
神奈川Sパル(株)
北沢産業(株)
(株)杏林堂薬局
(株)クリエイトエス・ディー
コネクシオ(株)
(株)コスモネット
(生協)コープみらい
(株)静鉄ストア
(株)大創産業

(株)中央コンタクト
静岡日産自動車(株)
静岡トヨペット(株)
資生堂ジャパン(株)
(株)ジャパネットホールディングス
スターゼン(株)
スミス・アンド・ネフュー(株)
(株)セブナー・イレブン・ジャパン
仙台トヨペット(株)
田村駒(株)
ディーゼルジャパン(株)
(株)TOKAIホールディングス
(株)東急ストア
東京トヨタ自動車(株)
トヨタカローラ静岡(株)
トヨタカローラ栃木(株)
トヨタ東京カローラ(株)
ネットヨタ静岡(株)
(株)ニトリホールディングス
萩原電気(株)
(株)パローホールディングス
(株)ビジョン
(株)日立ビルシステム
(株)ビックカメラ
(株)ホンダカーズ静岡
(生協)ユーコープ
マックスバリュ東海(株)
三菱電機住環境システムズ(株)
(株)ヤナセ
(株)ローソン
(株)ワークマン
(株)ワールドストアパートナーズ

金融業・保険業

あいおいニッセイ同和損害保険(株)
(株)青森銀行
アコム(株)
足利小山信用金庫
(株)足利銀行
イオンフィナンシャルサービス(株)
(株)岩手銀行
岡三証券(株)
掛川信用金庫
(株)神奈川銀行
奄有信用金庫
(株)十八銀行
(株)静岡銀行
静岡市町村職員共済組合
静岡県信用保証協会
(株)清水銀行
城北信用金庫
住友生命保険(相)
スルガ銀行(株)
静岡信用金庫
全国共済農業(協組連)静岡県本部
セントレード証券(株)
第一生命保険(株)
ダイレクトワン(株)
東京シティ信用金庫
東洋証券(株)
(株)西日本シティ銀行
日本生命保険(相)
(株)ニュートン・フィナンシャル・コンサルティング
沼津信用金庫
(株)フィナンシャル・エージェンシー
富士信用金庫
(株)北越銀行
三島信用金庫
水戸信用金庫
(株)山形銀行
(株)ゆうちょ銀行

不動産・物品賃貸業

伊藤忠人事総務サービス(株)
住友不動産販売(株)
太陽建機レンタル(株)
高見(株)
日神不動産(株)
日本ハウスイング(株)
(株)ハウスメイトパートナーズ
三井住友トラスト不動産(株)
三菱UFJ不動産販売(株)
(株)レンタルのニッケン

宿泊業・飲食サービス業

アパホテル(株)
(株)小田急リゾート
(株)ジェイアール東海ホテルズ
(株)ダイヤモンドダイニング
テンアライド(株)
東急ステイサービス(株)
東京ベイヒルトン(株)
(株)東京ベイ舞浜ホテル
(株)東武ホテルマネジメント
(株)時之栖
(株)はま寿司
(株)阪急阪神ホテルズ
藤田観光(株)
(株)プリンスホテル
(株)法華倶楽部
(株)ホテル銀水荘
(株)ホテルニューアカオ
(株)物語コーポレーション
リゾートトラスト(株)
ルートインジャパン(株)

生活関連サービス業・娯楽業

(株)エイチ・アイ・エス
(株)遠鉄トラベル
(株)ジェイアール東海ツアーズ
(株)JTB九州
(株)JTBグローバルマーケティング&トラベル
(株)JTB首都圏
(株)ダイナム
(株)日本旅行

教育・学習支援業

(株)イーオン
次城県土浦市教育委員会
群馬県教育委員会
国立大学法人群馬大学
(株)さなる
(学)三幸学園
静岡県教育委員会
誠恵高等学校
東京都教育委員会
(学)日本大学
日本大学藤沢高等学校・藤沢中学校
(学)沼津学園 飛龍高等学校
横浜市教育委員会

複合サービス事業

伊豆の国農業(協)
大井川農業(協)
かながわ西湘農業(協)
静岡市農業(協)
日本郵便(株)
三島函南農業(協)

サービス業(他に分類されないもの)

ANAスカイビルサービス(株)
一般社団法人日本自動車連盟(JAF)
静銀モーゲージサービス(株)
(株)J.R東日本ステーションサービス
(株)JALエアテック
(株)日本空港ロジテム
日本赤十字社次城県支部
(株)パソナ
(株)平山
(株)フルキャストホールディングス

公務

愛知県豊橋市役所
愛媛県庁
神奈川県
警察庁神奈川県警察本部
警察庁警視庁
警察庁栃木県警察本部
埼玉県草加市役所
相模原市消防本部
静岡県伊豆の国市役所
静岡県警察本部
静岡県御殿場市役所
静岡県静岡市役所
長野県庁
防衛省 海上自衛隊
防衛省 航空自衛隊
防衛省 陸上自衛隊

岬町役場
横浜市消防局

短期大学部(三島校舎)

製造業

(株)旭洋工業製作所
栄屋食品(株)
サンワフーズ(株)
東洋カプセル(株)
フジパンググループ本社(株)
(株)ミールケア
矢崎部品(株)
山崎製パン(株)
山梨罐詰(株)
横浜乳業(株)

卸売業・小売業

(株)あおき
(株)アスモフードサービス
アリス薬局グループ
ウエルシア薬局(株)
(株)NH C
(株)クリエイティブ
興和(株)
サンワテクノス(株)
(株)三和塗料
(株)たまや
(株)トゥモロランド
(株)パローホールディングス
ハーベスト(株)
(株)パン工房YAMANAKA
フジ産業(株)
(有)フルーリス
明電興産(株)
(生協)ユーコープ
菱電商事(株)
(有)若木

金融業・保険業

藍澤證券(株)
北部信用組合
(株)ジョットインターナショナル

宿泊業・飲食サービス業

(株)エスエルディー
(株)五味八珍
シダックス(株)
(株)寶田堂
日本ゼネラルフード(株)
(株)日本レストランエンタプライズ
(株)フロンコピリー
(株)ホテルニューアカオ
(株)LEOC

生活関連サービス業・娯楽業

グルーミングスタジオPooHouse
(株)セドナエンタープライズ
(株)ミス・パリ
(有)横浜ヘルシー
(株)LAVA International

医療・福祉

(株)川島コーポレーション
桑名眼科クリニック
(社)十字の園
(社)春風会
(社)伸こう福祉会
(社)信静会
(社)大心会
(医)社団 南愛会
親和会 西島病院
(社)揺籃会
(社)羊之舎恵愛会 恵愛保育園
(社)羊之舎恵愛会 すこやか保育園
(社)隣保の会
若葉福祉会 わかさ保育園
(社)和合会

複合サービス事業

御殿場農業(協)
南駿農業(協)

サービス業(他に分類されないもの)

(株)クリエイティブ 食彩倶楽部
(株)にしけい
(株)T T M
(株)パットコーポレーション

公務

警察庁鳥取県警察本部
静岡県三島市役所

※産業分類別五十首順

就職先の傾向について

国際関係学部では、広く学際的な学びを展開していることから、卒業生の就職先も多岐にわたっています。最も多い業界は卸売業、小売業(23.3%)、次いでサービス業(19.8%)、金融業・保険業(9.6%)の順となっています。また、学生に人気の高い公務員、教育、観光業界にも一定の成果を出しています。

最近の求人では、業界や企業規模にかかわらず、主体的行動力やコミュニケーション能力に加え、国際的対応力を高く評価する傾向が顕著です。これらの基礎能力は、当学部が用意する各種のカリキュラムをきちんと消化すればおのずと身につく力であり、1年次から真剣に学習に取り組んでほしいと思います。

短期大学部(三島校舎)卒業生の主な就職先は、卸売・小売業、サービス業のほか、医療・福祉業界へ就職者が多いのも特徴です。短期大学部生は1年次から就職活動を開始しなければならないため、卒業後の進路を入学後早急に決定し、学業に取り組む必要があります。